

演題名：当院不妊外来における妊娠流産回数別の予後に関して

徐クリニック ART センター

○徐東舜

#### 【目的(または背景)】

不妊外来で妊娠流産になった症例の中で流産回数別に、その予後に差があるかどうかを検討した。

#### 【方法】

当院不妊外来治療後流産になった 801 症例（1 回目 600 例、2 回目 139 例、3 回目 44 例、4 回目以上 18 例）のその予後を検討した。また D/C の有無、不育検査である血栓症などの因子や自己抗体、POC、PGT-A などの実施割合とその異常の有無での予後がどうかを検討した。

#### 【結果】

平均年齢、不妊期間（年）は 1, 2, 3, 4 回目以上で、 $36.0 \pm 4.2$  vs  $37.2 \pm 3.7$  vs  $38.3 \pm 4.0$  vs  $38.0 \pm 4.5$ 、 $2.4 \pm 2.2$  vs  $2.2 \pm 2.3$  vs  $2.2 \pm 1.6$  vs  $2.8 \pm 2.6$  で年齢のみ初回で有意に低値を示した。流産後の次回治療での成績を比較する。出産率は  $51.0\%$  vs  $52.8\%$  vs  $32.4\%$  vs  $31.3\%$  となり、流産率は  $26.0\%$  vs  $25.8\%$  vs  $40.0\%$  vs  $58.3\%$  であった。3 回目は 1, 2 回目に比較して有意に出産率が低く、流産率はいずれの回と比較して 4 回目以上が有意に高値を示した。D/C 有無の比較では D/C 有での出産率は、 $51.9\%$  vs  $59.4\%$  vs  $33.3\%$  vs  $14.3\%$ 、D/C 無の出産率は  $50.2\%$  vs  $45.9\%$  vs  $31.6\%$  vs  $44.4\%$  で、やや D/C 有のほうが高い傾向であった。POC 有無の比較では POC 有での出産率は  $53.7\%$  vs  $60.4\%$  vs  $38.5\%$  vs  $20\%$ 、POC 無の出産率は  $49.5\%$  vs  $56.3\%$  vs  $20.0\%$  vs  $0\%$  で、やや POC 有のほうが高い傾向であった。

#### 【結論(または考察)】

流産回数が 3 回以上になると予後不良となる。

POC を含む D/C などの検査を行うことで予後改善の可能性はある。